

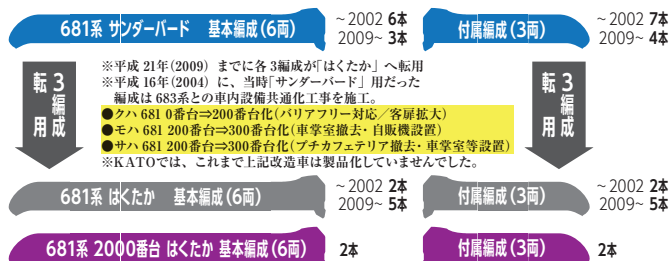
今月のイチオシ 鉄道模型

2026.02

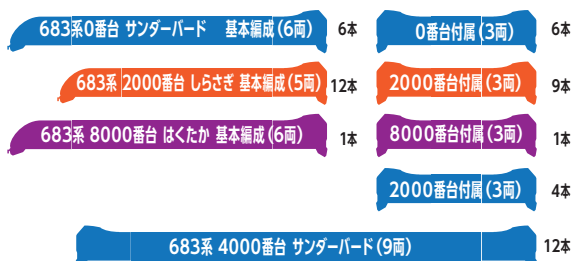
どこが変わった？ 北陸新幹線の延伸開業と 681系・683系・289系

KATO では、北陸特急で活躍する JR 西日本のフラッグシップ、681 系・683 系を古くから製品化、長年にわたりご好評をいただいております。実車は、平成 27 年（2015）の北陸新幹線金沢開業、令和 6 年（2024）の同敦賀開業という二度の大きなターニングポイントを経て、活躍の場が少しずつ変化してきました。KATO がここ最近製品化発表を行っている、681 系・683 系の新たなバリエーション製品では、随所に新規金型を製作しております。本稿では、実車の変遷とともに、従来製品からとの違いをご紹介します。

681 系 量産車… 平成 26 年（2014）頃までの編成



683 系 … 平成 26 年（2014）頃までの編成



各編成の
用途・塗装

サンダーバード

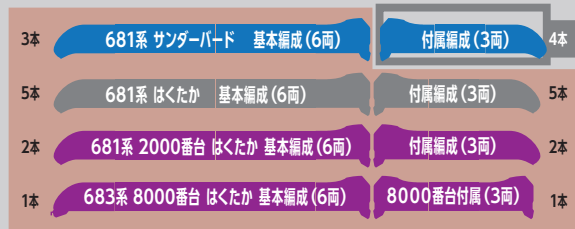
しらすぎ

はくたか

スノーホワイトエクスプレス
※北越急行所属

681系・683系 8000番台 … 「はくたか」から「しらすぎ」へ

- 平成 27 年（2015）3 月の北陸新幹線金沢開業による「はくたか」廃止と「サンダーバード」区間短縮に伴い、最終的に元北越急行所有車を含む「はくたか」用の全車と、「サンダーバード」用の 681 系基本編成が「しらすぎ」へと転用されました。
- 平成 31 年（2019）に、元「はくたか」編成も元「サンダーバード」編成に準じた改造が行われ、**サハ 681 200 番台が 300 番台へ変更**されています。
- 令和 6 年（2024）の北陸新幹線敦賀開業に伴い、大半は 683 系 0 番台に置き換えられましたが、基本編成の一部は現在も「しらすぎ」として活躍を続けています。



「しらすぎ」へ転用



- 品番 10-1313（2017 年 4 月発売）は、元「はくたか」編成の、平成 31 年（2019）頃までの仕様を製品化しました。
- 品番 10-2152（2026 年 5 月出荷予定）は、元「サンダーバード」編成を製品化いたします。
⇒**窓配置が変化したサハ 681 300 番台を新規金型で再現**

681系付属編成4編成はサンダーバード統投

681系 …生涯「サンダーバード」を貫く編成

- 681 系のうち「サンダーバード」用付属編成は引き続き同列車で活躍。当初から同列車用であったため、平成 16 年（2004）までに 683 系との車内設備共通化工事が施工されています。
- 平成 30 年（2018）から令和元年（2019）にかけて 1 編成を除きリニューアル工事が行われ、前面と側窓が黒色の外観へと変更されました。
- 品番 10-2149（2026 年 3 月出荷予定）は、683 系 4000 番台とともに「サンダーバード」で活躍を続ける現在の形態を製品化します。
⇒**客室が広くなったモハ 681 300、客扉が拡大されたクハ 681 200 を新規金型で再現**



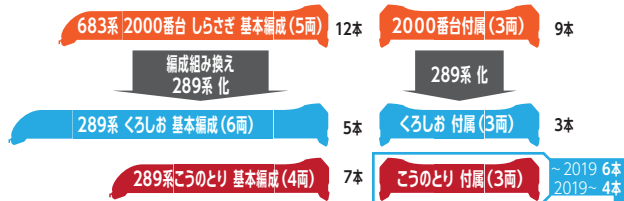
今月のイチオシ 鉄道模型

2026.02

どこが変わった？ 北陸新幹線の延伸開業と 681系・683系・289系

683系 2000番台→289系…直流化改造

●「しらさぎ」への681系投入に伴い、従来同列車に使用されていた683系2000番台は編成を組換えの上、交流機器の使用停止措置を実施し、289系へと改造されました。6両+3両編成は「くろしお」に、4両+3両編成は「こうのとり」や「きのさき」等に転用され、現在も活躍しています。



- 平成28年(2016)から平成30年(2018)にかけて、使用停止となっていた交流機器の撤去、グリーン車の半室化が実施されました。
 - 289系「くろしお」品番10-1363/10-1364(2016年8月発売)は、転用直後の仕様(交流機器残置、グリーン車半室化前)を製品化しました。
 - 289系「こうのとり・きのさき」品番10-2126/10-2127(2026年5月出荷予定)は、現在の仕様を製品化いたします。
- ⇒半室グリーン車となったクロハ288はもちろん、各車の床下機器・屋根上機器も新規金型で再現いたします。

683系 0番台…「しらさぎ」に683系が復活

●令和6年(2024)の北陸新幹線敦賀開業に伴い、683系0番台のうち基本編成が「しらさぎ」へ転用されました。

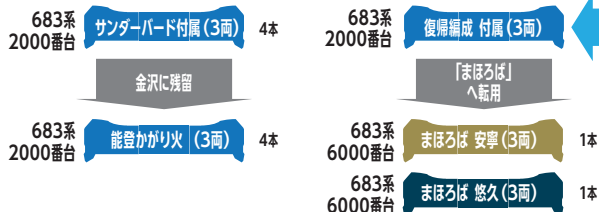


- 約9年ぶりに683系が「しらさぎ」の主力となり、リニューアル塗装をまとった新たなバリエーションとして誕生しました。
- 帯色の変更など軽微な改装に留まった同車について、KATOでは運行開始間もない2024年12月に製品化を発表し、2025年5月より好評発売中です(品番10-2071)。

683系 2000番台…“付属編成”から“主役”へ



- 289系付属編成のうち2編成は、平成31年・令和元年(2019)に683系2000番台へ復帰しました。これらは令和7年(2025)に6000番台へ改造され、「まほろば」での新たな活躍を始めました。
- KATOでは2025年10月に“安寧”編成(品番10-2145)から早速製品化。3両単独で運行される列車であることから、3両編成の中間車(サハ683)用の動力ユニットを新規に開発しました。機器の少ない床下の印象を損なわないよう、新たな構造を採用しています。



- 683系2000番台のうち新製時から「サンダーバード」用であった編成は、北陸新幹線敦賀開業後も金沢に残留し金沢〜七尾・和倉温泉を結ぶ「能登かがり火」専属の編成として活躍しています。
- 品番10-2144(2026年2月出荷予定)は、「まほろば」用と同様の動力ユニットを採用して製品化いたします。かつての「サンダーバード」増結用としてお楽しみいただくことも可能です。